

## 『平成 30 年度日本自然災害学会オープン・フォーラムおよびエクスカージョン』を開催しました(2018/10/8)

テーマ：自然災害，東日本大震災，震災伝承，教育，被災地巡検  
場所：仙台市中小企業活性化センター5階多目的ホール（オープンフォーラム）

2018年10月8日，日本自然災害学会，京都大学防災研究所，東北大学災害科学国際研究所，自然災害研究協議会東北地区部会の共同主催，防災研究協会ほかの後援により，仙台市中小企業活性化センター5階多目的ホールにおいて，平成30年度日本自然災害学会オープン・フォーラム「震災の伝承と防災の未来～被災地で向き合う「災害と教育」～」が開催されました。フォーラムには，日本自然災害学会第37回学術講演会の参加者をはじめ，学校防災や地域防災に関わる実践者や研究者等，約180名が参加しました。

オープン・フォーラムの前半は，中学生と高校生による防災学習・研究成果のポスター発表（7校・10発表）がありました。その後，当研究所の佐藤健教授（情報管理・社会連携部門）がコーディネータとなったパネルディスカッションが行われました。東日本大震災から7年半が経過した岩手，宮城，福島における復興教育，防災教育，放射線教育の現状と課題を共有し，防災の未来，災害に強い未来の地域づくりに向けた教育の役割を議論しました。パネリスト（敬称略）は以下の通りです。

森本 晋也（岩手大学大学院教育学研究科／地域防災研究センター・准教授）

佐藤 公治（宮城県南三陸町立歌津中学校・主幹教諭）

吉川 武彦（福島県相馬郡飯舘村立草野・飯樋・白石小学校長／

福島県相馬郡飯舘村立ままでの里のこども園長）

大内 幸子（仙台市地域防災リーダー）

伊勢みゆき（NPO法人まなびのたねネットワーク・代表理事）

桜井 愛子（東洋英和女学院大学・准教授）

また，パネルディスカッション終了後，中学生・高校生の発表に対するオープン・フォーラム参加者の投票結果に基づいた優秀発表賞の授与が行われました。受賞校は以下の通りです。

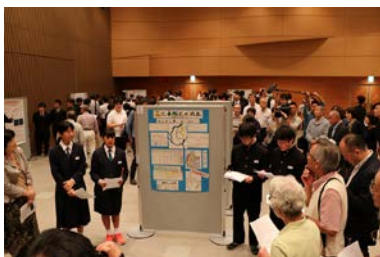
第1位 気仙沼市立階上中学校

第2位 石巻市立桃生中学校

第3位 宮城県石巻西高等学校，宮城県仙台二華高等学校A

さらに，午後から被災地巡検のエクスカージョンが47名の参加者のもと開催されました。震災遺構としての仙台市立荒浜小学校（仙台市），閉上の記憶（名取市），千年希望の丘（岩沼市）を訪問しました。

オープン・フォーラムの全体進行および中高生による防災学習・研究成果のポスター発表の企画・運営は当研究所の佐藤翔輔准教授（情報管理・社会連携部門）が，エクスカージョンは柴山明寛准教授（同部門）が担当しました。



中高生によるポスター発表



パネルディスカッション



エクスカージョン